

2006年9月4日(月)長門市通 くじら供養フィールドワーク

長船 8:23 発 長船(J R 赤穂線)→8:51 着 岡山 9:18 発 のぞみ 1 号→ 9:52 着 広島 乗換
広島 10.00 発 こだま 633 号 →11:05 着 厚狭 11:13 発 J R 美祢線(普通) [仙崎行き]→
長門市駅 12:19 着

大正館 〒759-4101 山口県長門市東深川 1904-1 TEL0837-22-2930 0837-22-0933

宿泊・食事 ¥10,525

長門山電タクシー 0837-26-2788 赤岩烈夫運転手 0837-26-0054 ¥3,200

J R 西日本長門市駅 0837-22-2600 JR 全行程 ¥31,780

1. 海雲山向岸寺 〒759-4107 山口県長門市通 936
松村賢正住職 TEL:0837-28-0064 FAX:0837-28-0085
2. くじら資料館 〒759-4107 山口県長門市通 671-17 TEL/FAX.0837-28-0756
3. 鯨墓 1692(元禄 5)年建立 〒759-4107 山口県長門市通 662
4. 御魂神社/金比羅大権現 建立月日不詳
5. 住吉神社 1658 (万治元) 年造立

◆宿泊先

大正館 〒759-4101 山口県長門市東深川 1904-1 TEL0837-22-2930 0837-22-0933

2006年9月5日(火) 脊振弁天と金立のシャクナゲFW

◆行き

長門市 8:14 発 J R 美祢線(普通) [厚狭行き] →9:22 着 厚狭 9:48 発 こだま 629 号→
10:31 着 博多 11:02 発 かもめ 15 号 [長崎(長崎)行き] →11:37 着 佐賀

◆帰り

17:45 発 佐賀 かもめ 36 号 [博多行き]→18:17 着 博多 18.45 発 のぞみ 52 号→
20.29 着 岡山 20:42 発 赤穂線→21.13 長船着

個人タクシー 古川 0952-31-1771 タクシー2時間 ¥16,310

1. 脊振神社
上宮：脊振山 田中雅治宮司
下宮：神崎市脊振町服巻 1455-1 (田中 地区) TEL (0952)59-2267
2. 法聚山 淨徳寺
神崎市脊振町服巻 950 番地 (田中 地区) 0952-59-2317. 本願寺派
syakunage_jyoutokuji@hotmail.com
3. お辰観音堂
佐賀市金立町東千布
4. 金立 (きんりゅう) 神社
上宮 佐賀市金立町大字金立 3415 下宮 佐賀市金立町大字金立 2467

脊振弁天と金立のシャクナゲFW

2006年9月5日(火)

長門市 8:14 発 JR美祢線(普通) [厚狭行き] →9:22 着 厚狭 9:48 発こだま 629号→

10:31 着 博多 11:02 発かもめ 15号 [長崎(長崎)行き] →11:37 着 佐賀

17:45 発 佐賀 かもめ 36号 [博多行き]→18:17 着 博多 18.45 発 のぞみ 52号→

20.29 着 岡山 20:42 発 赤穂線→21.13 長船着

1. 脊振神社

上宮：脊振山

下宮：神崎市脊振町服巻（はらまき）1455-1 TEL (0952)59-2267

2. 浄徳寺 神崎市脊振町服巻

3. お辰観音堂

佐賀市金立町千布

4. 金立（きんりゅう）神社

上宮 佐賀市金立町大字金立 3415 下宮 佐賀市金立町大字金立 2467



金立神社

標高 501m の金立山にある神社

創建不詳

祭神: 保食神、岡象売女命、徐福

穀物の神、水の神

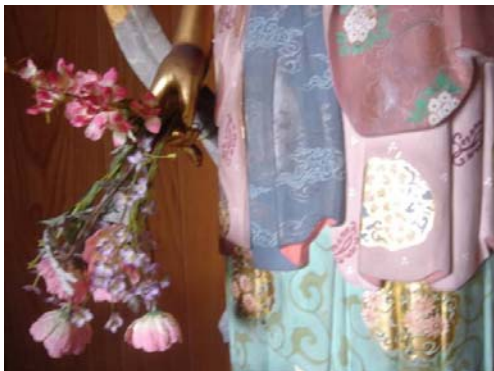
- 下宮（社務所あり）に徐福にフロフキを与えたという甲羅弁才天が祀られているのは本当か？ 不明
- 千布の第3の金立神社は何？ 不明
- 東千布のお辰（阿辰）観音堂



- 観音は右手に金立山に咲くシャクナゲを持っているのか？



現在は石楠花でなかった ↓
5日撮影



- 金立山にシャクナゲは咲くか？ 一不明

脊振神社 田中雅治宮司（S47年着任 57歳）へのインタビュー

1. 脊振神社上下宮の御由緒は発行されているか？

発行を控えている。

根拠となる文書は、ほとんど失われて、小さな巻物がひとつあるだけである。

それには六弁天が記されている。背振、巖島、箕面、竹生島、天川、江ノ島。

2. 脊振の石楠花について教えてほしい

脊振山地 西のほうにある「鬼が鼻岩」（鬼ヶ花？）のあたりに伝説どおりにシャクナゲが自生していた。これが弁天様のシャクナゲである。現在は盗掘されて全滅した。現在は更にその向こうに残っている。

鬼ヶ鼻岩から見た背振山方面



http://www5e.biglobe.ne.jp/~vision7/camp/yamanobori/hamaguri_seburi/TOP.htm



鬼ヶ鼻岩（椎原峠から）

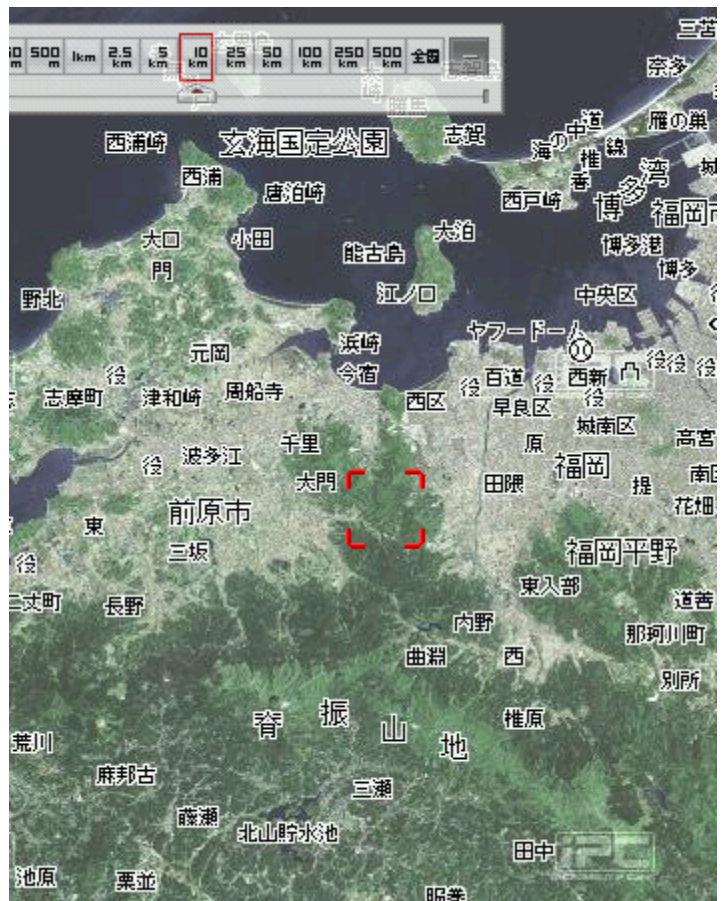


<http://www.city.fukuoka.jp/contents/7d520e191/7d520e19166.html>

※ 浄徳寺の弁才天シャクナゲ(写真右)は伝説のものではない。地区の古老のはなしでは樹齢もせいぜい100年ほどであろうということである。(宮司さん談)



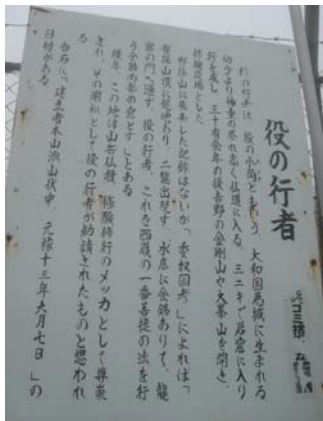
岡田「お塩井取りなどはありませんか？」
 田中宮司様「それはありませんね。しかし西浦など博多湾の漁師さんたちが脊振を信仰してお参りされます。博多湾からは脊振の三角形がはっきりと見えますから目標となる山なのです」
 脊振は博多湾の漁師たちの山あての山なのである。



神埼市のページから

<http://www.city.kanzaki.saga.jp/siseki/index.html>

「神社は1055メートルの山頂にあって、冬期は厳寒積雪のため参拝が困難であったため、白蛇神社の境内に下宮を建立した。白蛇神社、多聞坊東門寺は、同一境内に並びたっていたが、明治維新のため、寺院は扶持をはなれ、神仏混淆を禁じられたため、衆僧は離散し、寺院は廃寺となった。そして脊振神社は、明治6年2月21日、郷社として許可された。両神社の社殿は、明治7年の兵火に罹り、附近一帯の寺院と共に焼失し、現在の神社は、その後再建されたものと言われる。」



上宮入り口は低い



石宝殿を裏から見る



「上宮大辨才天」



脊振神社前の城春川(左 上流を向いて 右 下流を向いて)

脊振神社(下宮)



参道の階段

拝殿

本宮

背振神社(下宮)由来

日本六所弁財天の「背振弁財天」といわれ御祭神は市杵島姫命外の女神弁財天は佛教伝来後合祀されたというそのお使いといわれる白蛇が境内向って右側の石窟に棲んでいるので俗に、「はくしゃさん」とも呼び伝えられている。神佛混合の昔は同一境内に下宮と多聞坊東門寺が並び建っていたが、明治七年の佐賀の乱で焼失し現在の社殿はその後再建されたものである。五穀豊穡開運財運の神様として崇敬を集め境内をはじめ九州一円から、参詣がある。

例祭は五月三日
採燈大護摩供 十一月三日



白蛇宮(水が流れている横を潜り抜けられる)

境内の大岩



小さなビニール袋で持帰れる

不動(毘沙門)堂

シャクナゲ

浄徳寺本堂?